

# オリーブの会通信

2018年10月1日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会  
〒760-0043 高松市今新町4番地20  
連絡先 TEL 087-802-2568  
<http://khj-olve.com/>



ようやく秋の気配があちこちに見られます。稲穂は日ごとに垂れ下がり、田んぼのあぜ道には曼珠沙華が鮮やかに咲き誇り、虫の音もすっかり秋の音色に代わってきています。

さて、8月例会の香川県社会福祉協議会増田泰代氏のご講演に続き、9月の月例会は岡山県総社市社会福祉協議会のひきこもりの取り組みについて、地域の「我が事、丸ごと」地域共生社会の一環として実践されている内容をお話いただきました。

**3頁に講演内容の略記**

ひきこもり問題は地域とは無縁のまま、我が事でありながらどうすることもできず、途方に暮れているのが大多数の家族の現状です。

総社市の実践は地域の民生委員、福祉委員、ボランティアの協力で問題を解決するための知恵を出し合いながら解決の糸口を見つけていく体制ができています。そうすれば困難と思われるひきこもり問題も何とか地域で解決への展望が開けるような気がしました。

## 第196回月例会ご案内

日 時	2018年10月28日（日）13：30～16：30（受付：13:00～）
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 2階 第1研修室・第2研修室 〒761-8057 高松市田村町1114番地 Tel：087-867-7686

内 容	<p>☆第1部 13:30～ 会からの報告</p> <p>13:35～ 第12回KHJ全国大会 in 東京 の分科会収録DVDの視聴 テーマ 『長期ひきこもりの多様な自立支援のあり方』 講師：石川 清 氏 講師は長年、ひきこもり訪問サポートを実践するフリーライター</p> <p>15:00～15:15 休憩</p> <p>☆第二部 15:15～16:30 グループ別話し合い</p>
参加費	会員1家族：1,000円 会員以外：1,500円

## 第197回月例会ご案内

日 時	2018年11月25日（日）13:30～16:30（受付：13:00～）
場 所	<p>かがわ総合リハビリテーションセンター 2階 第1研修室・第2研修室 〒761-8057 高松市田村町1114番地 Tel：087-867-7686</p>
内 容	<p>☆第1部 13:30～ 会からの報告 13:35～ 第12回KHJ全国大会 in 東京 の分科会収録DVDの視聴 テーマ『コミュニケーションから発達障害の理解と対応を考える』 講師：冠地 情 氏（東京都発達障害当事者会代表） 冠地 俊子 氏（発達障害の息子を持つ母） ・当事者とその母親それぞれのお話があり理解に役立ちます。</p> <p>15:00～15:15 休憩</p> <p>☆第二部 15:15～16:30 グループ別話し合い</p>
参加費	会員1家族：1,000円 会員以外：1,500円

## 第 195 回月例会（9 月 23 日）の概要

### 講演 『ひきこもりに対する私たちの思いと取り組み』

講師 社会福祉法人 総社市社会福祉協議会 事務局次長 中井 俊雄 氏  
講演の概要。

総社市は人口約 68,000 人の小都市です。（香川県では三豊市と同程度の人口）総社市の市長は『全国屈指の福祉文化先駆都市』を目指すことを選挙公約に掲げその実現を目指しています。

#### 最初に始めたのは障害者問題

当初、具体的に進めていった課題は障害者問題でした。障害者手帳を持っている人は身体的、精神の障害者は市内に約 3,000 人余り。15 歳～65 歳の稼働年齢の対象者は約 1,300 人、その中で実際の稼働対象者は約 1,000 人でした。その人たち全員にアンケートを送付し、約 1,000 件以上の家庭訪問をしてニーズをまとめました。約 3 年をかけて全員を訪問した結果、障害者の雇用問題を重視し『障害者千人雇用センター』を立ち上げました。当時 420 名が福祉就労も含めて就労していました。その後、580 人の就労を新たに開拓し、1,000 人の障害者雇用を平成 29 年 5 月に達成しました。総社市は中小企業が多く法定障害者雇用企業は数社しかありません。事業所を開拓するために市長自ら中小企業を回りお願いに行った結果千人雇用が達成できたのです。

#### ひきこもり問題は障害者雇用の中から生まれた

障害者の問題は一応終了しましたが、問題として残ったのがひきこもり者でした。ひきこもり者の中でも障害者手帳を持っている人は障害者雇用の制度に乗れますが、手帳を持っていないひきこもり者が残ってしまいました。その人たちを丁度国の新たな制度である生活困窮者自立支援事業で支えていくことになりました。

#### 総社市のひきこもり者実態調査

しかし、ひきこもり者が総社市にどれ位いるのか、どのようなニーズがあるのかわからず、実態調査をすることにしました。

実態調査の主体は民生委員・児童委員 162 人と新たに選出した福祉委員 588 人です。ひきこもりについて 2 回の研修会を開き、ひきこもり者の認識を一致させました。対象も「義務教育終了後であって、おおむね 6 ヶ月以上社会から孤立している状態」の者としました。氏名を明らかにせず、年代別、性別は明確にし、地域ごとのグループになって話し合ってきたのが 207 名のひきこもり者でした。この人たちに何とか社会へ一歩踏み出していただけるための体制を整備するために、総社市の重点課題として、ひきこもり支援センターの立ち上げを平成 29 年 4 月におこなった。

#### ひきこもり支援センターの立ち上げ

当初は、生活困窮者自立支援事業で対応していたひきこもり問題は、そう簡単に解決するも

のではない。ひきこもりに特化した専門的相談センターが必要であると判断した。総社市は全国に先駆けて市レベルでひきこもり支援センターを平成 29 年 4 月に立ち上げました。支援センターを設置して 1 年半足らずで相談件数 2,577 件、訪問 857 件、来所 913 件、電話 1,121 件です。支援センターの職員は 3 人、社会福祉士 2 人、臨床心理士 1 人の体制です。

その結果、すでに、社会参加しているひきこもり者が 16 人います。特別養護老人ホームや地域の農園へのボランティア体験(5 人)、一般就労(3 人)、福祉的就労(3 人)などです。

### 総社市が何故そこまで出来るのか！

総社市の総合計画で目指しているのは『全国屈指の福祉文化先駆都市』であり市の基本姿勢がユニークである。誰もが住みたくなる、誰もが働きたくなる、誰もが学びたくなる、誰もが集いたくなる総社市を基本理念にすえている。その中で、ひきこもり問題は誰もが働きたくなる総社に組み込まれています。

地域の組織化、民生委員・児童委員、福祉委員はじめ自治会など地域で問題解決をしていくシステム作りをしています。

ここまですれば、ひきこもり者も地域で支えられていくことが出来るような気がしました。

○ 将来的には市町レベルで「ひきこもり支援センター」ができなければひきこもり問題の根本的な解決は難しいのではないかと思います。

(文責 泉 善法)

## お知らせコーナー

### その 1

9 月 20 日 平成 30 年度第 1 回高松市若者支援連絡協議会(実務者会議)

①今年度は、「若者支援サポートブック」の 35,000 部作成をして、市内に配布します。

配布は 12 月上旬の予定です。

②2023 年に向けて「地域共生社会の実現に向けて」ほっとけん市民みんなで作る、ほっとかんまち高松の説明がありました。

### その 2

9 月 10 日 香川県からオリーブの会の要望書に対する回答がありました。

要望① KHJ オリーブの会を県内におけるひきこもり関係機関として位置付け、ひきこもり支援ネットワークにおいて、必要な支援施策や事業化の検討する場合の連携を要望します。

回答 貴会にはサポーター養成等のご協力をいただいている。今後もひきこもり対策連絡協議会の開催を通じて、ひきこもり支援についての認識の共有を図っているところであるが、今後とも、貴会との連携を図ってまいりたい。

要望② ひきこもり者の実態調査をしてほしい。

回答 国や他県の調査方法を参考にして、実態調査を検討していく。

要望③ 断らない相談支援及び継続的支援体制について

回答 ひきこもり地域支援センター及び各保健福祉事務所にて相談事業に取り組んでいる。相談業務は非常に重要であるので貴会の意見も聞きながら継続的な相談支援に取り組んでいく。

要望④ 訪問(アウトリーチ)支援施策の充実について

回答 平成30年10月1日より生活困窮者自立支援事業の中で就労準備支援事業の中でアウトリーチ事業が始まる。現在は高松市、丸亀市、善通寺市で実施しているが、今後は就労準備支援事業が努力義務化されるのでアウトリーチ支援が広がっていく。

要望⑤ ひきこもり支援拠点(居場所、相談窓口)作りのための補助金を

回答 特定の団体の運営費を継続的に助成することは困難である。

要望⑤ 香川県精神保健福祉センターへの常勤の精神科医の配置

回答 募集はしているが希望者が見当たらない。

【2018年10月以降の各会等の予定】

(相談窓口・傾聴サロン)

内 容	月	日	曜	時 間	担 当
ひきこもり相談窓口 (来所相談も可) ※先ずは ☎ 087-802-2567 をお待ちしております - 第5土曜日は全て休みです -	10	6、13、 20、27	土	10:00~16:00	泉・川井ほか
	11	3、10 17、24	土	10:00~16:00	泉・川井ほか
ひきこもり当事者傾聴サロン ※連絡先: ☎ 087-802-2567 - 第1・3土曜日に行います -	10	6、20	土	13:00~16:00	サポーター登 録者・平野
	11	3、17	土	13:00~16:00	サポーター登 録者・平野

(理事会・運営委員会等)

内 容	月	日	曜	時 間	摘 要
第8回運営委員会、	10	20	土	13:30~16:30	
第9回運営委員会	11	17	土	13:30~16:30	
第10回運営委員会	12	15	土	13:30~16:30	
第11回運営委員会	1	19	土	13:30~16:30	

\*ポパイの会(居場所活動) 予定は、別途印刷の同封パンフをご活用ください